

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成 24 年 6 月 22 日

理事長 松山 良一

訪日外客数 (2012 年 5 月推計値)

◇5 月 : 訪日外客数
/ 前年同月比 87.0%増、前々年同月比 7.3%減の 66 万 9 千人に

※出国日本人数については、最終頁をご参照ください。

- 2010 年 5 月は訪日外客数が顕著に増加した月であったこともあり、2012 年 5 月の訪日外客数は、同月との比較で 7.3%減となった。
- 市場全体では、東日本大震災等の影響から回復しつつあり、中でも中国及びタイからの訪日外客数は 5 月としては過去最高を記録した。台湾からの訪日外客数は、5 月としては 2008 年に次いで多かった。
- また、マレーシア、インドネシア、ベトナム等、東南アジアの新興市場からの訪日外客数も、5 月としては過去最高を記録した。
- 一方、韓国、香港、フランス、ドイツ等、円高や放射能汚染に伴う食の安全への懸念等の影響により、回復が遅れている市場がある。

* 2012 年 3 月訪日外客数暫定値及び 2007 年～2011 年 各国・地域別 日本人訪問者数 (受入国統計) は、JNTO Web サイトに掲載しています。

◇ 2012 年 3 月訪日外客数暫定値 :

http://www.jnto.go.jp/jpn/reference/tourism_data/visitor_trends/data_zantei.html

◇ 2007 年～2011 年 各国・地域別 日本人訪問者数 (受入国統計) :

http://www.jnto.go.jp/jpn/downloads/marketingdata_overseas_travelers0711.pdf

お問い合わせ先 :
海外マーケティング部
市場統括グループ
TEL : 03-3216-1902



平成24年 訪日外客数推計値

2012 Visitor Arrivals

月 Month	訪日外客数 Visitor Arrivals			平成24年6月22日 (単位:人 / Unit: Persons)	
	平成22年 2010	平成23年 2011	平成24年 2012	伸率(対23年) Change %	伸率(対22年) Change %
1 Jan.	640,346 (437,752)	714,099 (505,543)	684,819 (485,860)	-4.1 (-3.9)	6.9 (11.0)
2 Feb.	664,982 (514,106)	679,393 (506,441)	547,948 (364,537)	-19.3 (-28.0)	-17.6 (-29.1)
3 Mar.	709,684 (484,298)	352,676 (190,730)	678,748 (452,568)	92.5 (137.3)	-4.4 (-6.6)
4 Apr.	788,212 (601,872)	295,826 (108,820)	*780,800	*163.9	*-0.9
5 May	721,348 (536,880)	357,783 (183,799)	*669,000	*87.0	*-7.3
6 June	677,064 (511,123)	432,883 (282,118)			
7 July	878,582 (714,623)	561,489 (396,559)			
8 Aug.	802,725 (613,413)	546,503 (373,195)			
9 Sept.	717,756 (498,421)	538,727 (323,947)			
10 Oct.	727,278 (507,872)	615,701 (404,377)			
11 Nov.	634,818 (435,315)	551,571 (358,056)			
12 Dec.	648,380 (506,299)	572,101 (423,650)			
1~5 Jan.-May	3,524,572 (2,574,908)	2,399,777 (1,495,333)	*3,361,300	*40.1	*-4.6
1~12 Jan.-Dec.	8,611,175 (6,361,974)	6,218,752 (4,057,235)			

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

(If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.)

◆注2：訪日外客数の平成22年、23年は確定値、平成24年は暫定値、*部分はJNTOが独自に算出した推計値である。

◆注3：訪日外客数(確定値・暫定値)は法務省資料を基にJNTOが算出した数値である。

◆注4：訪日外客数(確定値・暫定値)とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。

◆注5：()内は、総数のうちの観光客数である。

2012年5月 訪日外客数（JNTO推計値）

Visitor Arrivals for May 2012 (Preliminary figures by JNTO)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2011年 5月	2012年 5月	伸率(%)	2011年 1月～5月	2012年 1月～5月	伸率(%)
総数	Grand Total	357,783	669,000	87.0	2,399,777	3,361,300	40.1
韓国	South Korea	84,014	157,400	87.3	736,933	803,100	9.0
中国	China	58,608	113,400	93.5	401,715	614,300	52.9
台湾	Taiwan	67,958	121,100	78.2	336,414	564,200	67.7
香港	Hong Kong	11,584	32,500	180.6	115,195	190,600	65.5
タイ	Thailand	8,457	24,000	183.8	53,185	118,600	123.0
シンガポール	Singapore	6,999	13,100	87.2	37,157	54,200	45.9
豪州	Australia	7,406	13,200	78.2	76,905	89,800	16.8
米国	U.S.A.	40,770	65,300	60.2	206,333	287,900	39.5
カナダ	Canada	5,779	11,900	105.9	40,096	58,800	46.6
英国	United Kingdom	8,629	13,400	55.3	54,208	74,800	38.0
フランス	France	5,864	10,000	70.5	35,463	50,700	43.0
ドイツ	Germany	4,391	8,600	95.9	28,878	43,200	49.6
マレーシア	Malaysia	4,139	12,700	206.8	29,006	52,900	82.4
インド	India	5,140	6,800	32.3	24,079	29,000	20.4
ロシア	Russia	2,049	3,200	56.2	13,108	18,000	37.3
インドネシア	Indonesia	3,550	7,100	100.0	19,410	34,000	75.2
ベトナム	Vietnam	2,636	4,200	59.3	16,165	22,900	41.7
その他	Others	29,810	51,100	71.4	175,527	254,300	44.9

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：上記の2011年の数値は確定値、2012年の数値はJNTOが独自に算出した推計値である。

◆注3：訪日外客とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. Above figures for 2012 stands for the preliminary ones estimated by JNTO.

2012年5月 訪日外客数 (JNTO推計値)

対前々年(2010年)同月(5月)比較

Visitor Arrivals for May 2012 (Preliminary figures by JNTO)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2010年 5月	2012年 5月	伸率(%)	2010年 1月～5月	2012年 1月～5月	伸率(%)
総数	Grand Total	721,348	669,000	-7.3	3,524,572	3,361,300	-4.6
韓国	South Korea	201,484	157,400	-21.9	990,198	803,100	-18.9
中国	China	112,558	113,400	0.7	600,274	614,300	2.3
台湾	Taiwan	114,168	121,100	6.1	508,637	564,200	10.9
香港	Hong Kong	40,864	32,500	-20.5	206,585	190,600	-7.7
タイ	Thailand	17,014	24,000	41.1	101,996	118,600	16.3
シンガポール	Singapore	15,041	13,100	-12.9	59,695	54,200	-9.2
豪州	Australia	14,621	13,200	-9.7	101,012	89,800	-11.1
米国	U.S.A.	65,559	65,300	-0.4	296,279	287,900	-2.8
カナダ	Canada	14,394	11,900	-17.3	67,467	58,800	-12.8
英国	United Kingdom	14,969	13,400	-10.5	79,088	74,800	-5.4
フランス	France	13,699	10,000	-27.0	61,333	50,700	-17.3
ドイツ	Germany	10,944	8,600	-21.4	49,473	43,200	-12.7
マレーシア	Malaysia	10,252	12,700	23.9	46,496	52,900	13.8
インド	India	7,942	6,800	-14.4	28,566	29,000	1.5
ロシア	Russia	4,238	3,200	-24.5	20,306	18,000	-11.4
インドネシア	Indonesia	5,109	7,100	39.0	25,362	34,000	34.1
ベトナム	Vietnam	3,086	4,200	36.1	17,081	22,900	34.1
その他	Others	55,406	51,100	-7.8	264,724	254,300	-3.9

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：上記の2010年の数値は確定値、2012年の数値はJNTOが独自に算出した推計値である。

◆注3：訪日外客とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. Above figures for 2012 stands for the preliminary ones estimated by JNTO.

2011年3月に発生した東日本大震災と福島第一原子力発電所事故の影響により、訪日外客数が著しく減少したため、2012年3月以降の統計については、これまでの前年同月比に加え、前々年同月比にも留意した分析を行っていきます。

2012年5月 訪日外客数推計値

5月	669,000人	(前年同月比 87.0%増、311,200人増) (2010年同月比 7.3%減、52,300人減)
1～5月	3,361,300人	(前年同期比 40.1%増、961,500人増) (2010年同期比 4.6%減、163,300人減)

中国、タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナムは、5月として過去最高を記録した。

[考えられる主な要因・背景]

航空座席供給量の拡大やプロモーション効果が回復を後押しする一方、放射能汚染に伴う食の安全への懸念や円高などが、訪日旅行の回復に影響

5月の訪日外客数増減の主な要因・背景には、以下が挙げられる。

- 放射能汚染に伴う食の安全に対する懸念等の継続、地震等天災への不安（韓国、中国、香港、シンガポール、豪州、フランス、ドイツ）
- 円高（韓国、香港、米国、カナダ、英国、フランス、ドイツ）
- 他国への旅行需要の拡大の影響（香港、シンガポール）
- 燃油サーチャージの高止まり（カナダ、フランス）
- 航空座席供給量の拡大（台湾、タイ、米国）
- 個人旅行の増加（中国、台湾）
- 露出度を高めたプロモーションの効果（韓国、台湾、タイ、豪州、英国）

【市場別 訪日外客数（推計値）】

◆韓国

放射能への不安、円高による訪日旅行の割高感が影響

5月:	157,400人	(前年同月比 87.3%増、73,400人増) (2010年同月比 21.9%減、44,100人減)
1～5月:	803,100人	(前年同期比 9.0%増、66,200人増) (2010年同期比 18.9%減、187,100人減)

[考えられる要因・背景]

- 放射能汚染による食の安全と巨大地震発生の懸念により、訪日旅行への不安が払拭されず、5月も訪日旅行が敬遠された。
- 円高の進行による割高感が、訪日旅行の選択に不利に働いた。

- 訪日旅行の大きな阻害要因となっている放射能への不安感と円高による割高感を極小化するため、韓国の人気ブロガー招請やLCCとタイアップした各種プロモーションを行い、訪日旅行需要を喚起した。また、訪日旅行商品の造成を支援したツアーが、毎月連続してテレビショッピングで放送・販売されていることも、需要の下支えに繋がっている。

◆中国

個人旅行需要の拡大等で微増

5月:	113,400人	(前年同月比93.5%増、54,800人増) (2010年同月比0.7%増、800人増)
1~5月:	614,300人	(前年同期比52.9%増、212,600人増) (2010年同期比2.3%増、14,000人増)

これまで5月として過去最高だった2010年(112,558人)を約800人上回り、過去最高を記録した。

[考えられる要因・背景]

- 沖縄個人観光数次ビザの解禁や個人観光ビザの発給要件緩和により、個人旅行者の増加傾向が見られる。
- 5月下旬以降、大型クルーズ船「コスタ・ビクトリア号」の日本寄港により、中国人約5,000人以上が訪日したと推測される。
- 余震や放射能汚染についての懸念は一部の消費者に残っており、訪日旅行市場の回復・拡大の阻害要因となっている。

◆台湾

日台間の航空座席供給量の拡大、個人旅行の増加、団体旅行に回復の兆し

5月:	121,100人	(前年同月比78.2%増、53,100人増) (2010年同月比6.1%増、6,900人増)
1~5月:	564,200人	(前年同期比67.7%増、227,800人増) (2010年同期比10.9%増、55,600人増)

[考えられる要因・背景]

- オープンスカイによる新規路線の開設や増便により、航空座席供給量が増加した。
- 日台オープンスカイを契機とした現地航空会社との共同広告や、台湾の主要各都市での消費者イベントの実施に加え、自治体等のトップセールスなどにより、観光地として日本の存在感が高まり、訪日需要を喚起したと考えられる。
- 個人旅行の増加のほか、首都圏への団体旅行需要も、回復に向けて一定の兆しが見えてきている。
- 一方、東北地方への客足は依然として厳しい状況である。

◆香港

東日本地域への回復の遅れや円高の進行が影響

5月:	32,500人	(前年同月比180.6%増、20,900人増) (2010年同月比20.5%減、8,400人減)
1~5月:	190,600人	(前年同期比65.5%増、75,400人増) (2010年同期比7.7%減、16,000人減)

[考えられる要因・背景]

- 放射性物質関連の報道は減少したが、東日本地域への訪日旅行の懸念は継続しており、回復の動きは依然として鈍い傾向にある。特に、家族連れの旅行においては、放射能汚染に伴う食の安全への懸念等から、東日本地域を敬遠する傾向が未だに継続している。
- 円高の進行により訪日旅行の割高感が続く一方で、香港からアジア近隣諸国への旅行需要が拡大しており、訪日旅行需要にも一部影響を及ぼしたと考えられる。

◆タイ

航空座席供給量の増加、インセンティブツアーの催行による訪日旅行需要の拡大

5月:	24,000人	(前年同月比183.8%増、15,500人増) (2010年同月比41.1%増、7,000人増)
1~5月:	118,600人	(前年同期比123.0%増、65,400人増) (2010年同期比16.3%増、16,600人増)

これまで5月として過去最高だった2008年5月(20,309人)を約3,700人上回り、過去最高を記録した。

なお、2010年5月は、タクシン元首相派のいわゆる赤シャツ隊によるバンコク騒乱により、在タイ日本国大使館等が約10日間にわたり査証発給手続きを休止したため、訪日ツアーやインセンティブツアーのキャンセルが生じ、訪日客数の減少に繋がった。同月との比較で、本年5月の増加幅は大きくなったと見られる。

[考えられる要因・背景]

- 航空便の増便やチャーター便の運航により座席供給量が増加した。
- 金融や自動車メーカーによる大型の訪日インセンティブツアーが催行された。
- 訪日旅行を賞品とする企業の販売促進キャンペーンと連携し、店頭や駅、テレビや新聞等での日本の露出を高め、訪日旅行需要を喚起した。

【参考】日本政府は、本年6月1日より、観光や親族訪問などの目的で日本を訪問するタイ国内に居住するタイ国籍の方々に対し、数次ビザを発給することとした。これにより、タイから日本への観光客の増加が期待される。

◆シンガポール

放射能や地震への警戒感などが影響

5月:	13,100人	(前年同月比 87.2%増、6,100人増) (2010年同月比 12.9%減、1,900人減)
1~5月:	54,200人	(前年同期比 45.9%増、17,000人増) (2010年同期比 9.2%減、5,500人減)

[考えられる要因・背景]

- 放射能や地震への警戒感、またその他天災に不安を感じる層（主に家族層）の、訪日旅行を敬遠する傾向が未だに継続している。
- ユーロ安によるヨーロッパへの旅行需要の拡大が、訪日旅行需要にも一部、影響を及ぼしたと考えられる。
- 日本人のゴールデンウィーク時期のシンガポール旅行需要増により、シンガポール発の航空座席の確保が困難になった。
- 団体ツアーの販売が不振である一方、航空会社による格安プロモーションや個人旅行が訪日旅行需要を下支えした。

◆豪州

放射能への不安の継続が影響

5月:	13,200人	(前年同月比 78.2%増、5,800人増) (2010年同月比 9.7%減、1,400人減)
1~5月:	89,800人	(前年同期比 16.8%増、12,900人増) (2010年同期比 11.1%減、11,200人減)

[考えられる要因・背景]

- 放射能汚染に伴う食の安全への不安等が、依然として消費者の訪日旅行意欲を一定程度抑制している。
- 日本特集記事や広告などの主要紙誌やオンライン版への掲載、テレビやJNTOウェブサイトなどを通じた訪日旅行を促進するための情報発信など、集中的なメディア露出が、訪日旅行需要を下支えした。

◆米国

円高の影響を受けつつも、2010年と同水準にほぼ回復

5月:	65,300人	(前年同月比 60.2%増、24,500人増) (2010年同月比 0.4%減、300人減)
1~5月:	287,900人	(前年同期比 39.5%増、81,600人増) (2010年同期比 2.8%減、8,400人減)

[考えられる要因・背景]

- 円高基調にあり、訪日旅行の選択に不利に働いた。

- 震災に関する報道も減少してきており、訪日旅行を検討する動きが増えた。
- 成田⇄ボストン間の新規就航等により航空座席供給量が増加し、訪日旅行需要の喚起に繋がった。

◆カナダ

円高、燃油サーチャージの高止まりが影響

5月:	11,900人	(前年同月比105.9%増、6,100人増)
		(2010年同月比17.3%減、2,500人減)
1~5月:	58,800人	(前年同期比46.6%増、18,700人増)
		(2010年同期比12.8%減、8,700人減)

[考えられる要因・背景]

- 円高基調にあり、訪日旅行の選択に不利に働いた。
- 日本行きの燃油サーチャージが、高止まりに加え、近隣のアジア諸国行きに比べ突出しているため、消費者心理に影響を及ぼした。

◆英国

円高が影響

5月:	13,400人	(前年同月比55.3%増、4,800人増)
		(2010年同月比10.5%減、1,600人減)
1~5月:	74,800人	(前年同期比38.0%増、20,600人増)
		(2010年同期比5.4%減、4,300人減)

[考えられる要因・背景]

- 英国経済の低迷、円高基調が続き、訪日旅行の選択に不利に働いた。
- 現地航空会社及び英国の高級日刊紙と共同で実施したインターネット上でのキャンペーンが、春の訪日旅行需要を下支えした。

◆フランス

放射能への不安の継続、円高などが影響

5月:	10,000人	(前年同月比70.5%増、4,100人増)
		(2010年同月比27.0%減、3,700人減)
1~5月:	50,700人	(前年同期比43.0%増、15,200人増)
		(2010年同期比17.3%減、10,600人減)

[考えられる要因・背景]

- 放射能汚染に伴う食の安全への懸念等が未だ払拭されておらず、5月も訪日旅行の回復に影響した。
- 円高の進行や燃油サーチャージの高止まりが、訪日旅行の選択に不利に働いている。

◆ドイツ

放射能への不安の継続、円高が影響

5月:	8,600人	(前年同月比95.9%増、4,200人増)
		(2010年同月比21.4%減、2,300人減)
1~5月:	43,200人	(前年同期比49.6%増、14,300人増)
		(2010年同期比12.7%減、6,300人減)

[考えられる要因・背景]

- 放射能汚染に伴う食の安全への懸念等が根強く残っており、5月も訪日旅行の回復に影響した。
- 円高基調の高止まりが、訪日旅行の選択に不利に働いた。

【参考】

平成24年 出国日本人推計値

2012 Japanese Overseas Travelers

5月の出国日本人数は、前年同月比(対23年5月)22.7%増、前々年同月比(対22年5月)12.0%増、5月として過去最高の141万4千人に

月 Month	出国日本人数 Japanese Overseas Travelers			平成24年6月22日 (単位:人 / Unit: Persons)	
	平成22年 2010	平成23年 2011	平成24年 2012	伸率(対23年) Change %	伸率(対22年) Change %
1 Jan.	1,264,299	1,282,348	1,331,144	3.8	5.3
2 Feb.	1,289,825	1,391,193	1,572,587	13.0	21.9
3 Mar.	1,563,113	1,420,584	1,737,033	22.3	11.1
4 Apr.	1,212,959	1,114,906	* 1,395,000	* 25.1	* 15.0
5 May	1,262,453	1,152,339	* 1,414,000	* 22.7	* 12.0
6 June	1,312,608	1,267,227			
7 July	1,405,335	1,465,379			
8 Aug.	1,642,240	1,786,412			
9 Sept.	1,541,041	1,637,158			
10 Oct.	1,437,105	1,517,525			
11 Nov.	1,397,424	1,497,704			
12 Dec.	1,308,822	1,461,425			
1~5 Jan.-May	6,592,649	6,361,370	* 7,450,000	* 17.1	* 13.0
1~12 Jan.-Dec.	16,637,224	16,994,200			

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

(If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.)

◆注2：出国日本人数の平成22年および平成23年は確定値、平成24年は暫定値、*部分はJNTOが独自に算出した推計値である。

◆注3：出国日本人数(確定値・暫定値)は法務省資料を転記した数値である。